

人口のうごき
(2月1日現在 推計)
本 月 前月比
男 38,312 34増
女 35,692 92増
計 74,004 126増
世帯数28,983 81増

石井市 広報 こまえ

発行 東京都 狛江市
狛江市和泉本町一丁目1番5号
〒201 ☎430-1111
編集 企画財政部企画広報課

昭和61年 3月15日 467号

市議会第1回定例会



石井市長

石井市長が所信表明

昭和六十一年狛江市議会第一回定例会が、三月五日から二十八日までの会期で開かれています。石井市長は議会の初日に、昭和六十一年度市政に取り組む姿勢と施策の概要を含む所信表明を行いました。...

町づくり促進と福祉・教育の充実
事務事業の見直しに最善尽くす

私が市長に就任してから、一年八か月になりますが、この間私が感じましたことは、第一に市の財政が大変厳しい状況に至っていることである。...

学校施設の整備については、既設校舎の改修のほか、狛江第一小学校の移転に伴う新小学校の校舎建設を、昭和六十一年四月の開校を目途に進めます。...

春の全国交通安全運動

4月6日から15日まで
やさしさと思いやりのある運転を

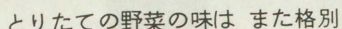
昭和六十一年春の全国交通安全運動が四月六日から十五日まで行われます。この安全運動を前に調布警察署、調布交通安全協会等では、「交通安全市民のつどい」を開催し、「運転者講習会」を開催します。...

交通安全市民のつどい

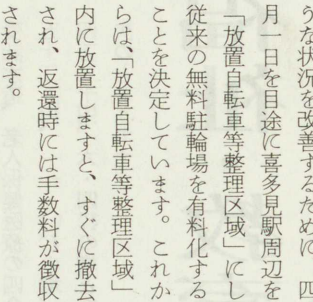
三月二十六日(水)午前十時から正午まで福祉会館ホールで行います。映画、講話等を予定していますので、お誘い合わせのうえご来場ください。...

運転者講習会

市内で行われる運転者講習



そこで、世田谷区ではこのよ



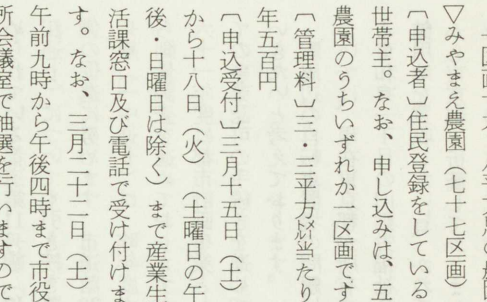
参照)を新設します。

新しく2園が開設されます

と新設二園の六十二年四月から六十三年三月までの使用者を次のとおり募集します。

〔募集区画〕

一 区画十三・二平方メートルの農園
▽いずみ農園（百五十一区画）
▽おばら農園（九十三区画）
▽いのがた農園（約五十五区画）
▽いわとみなみ農園（約七十五区画）



喜多見駅周辺
新たに二か所

ご来りください。

なお、現使用者は、三月末日までに使用区画を整備し返還できるようにしてください。

また、農園使用者と一般の人を対象に、三月二十九日（土）午後二時三十分から市民センターで、農業改良普及所普及員を講師に野菜づくり講習会を行います。詳細は産業生活課（）。

出張受け付け日程

時間 月日	午前 9 時 ～ 11 時	午後 2 時～ 4 時
3 月 18 日 (火)		和泉多摩川 八千代信用金庫前 (マイクロバス使用)
3 月 19 日 (水)	南部地域センター	岩戸地域センター
3 月 20 日 (木)	福 社 会 館	上和泉地域センター

舞金を支払う制度です。
掛け金は大人四百円、中学生以下二百五十円です。
見舞金の請求期間は、交通事故にあつた日から二年以内です。なお、請求には、会員証、交通事故証明書（自動車安全運転センター発行）、医師の診断書または死亡診断書、印鑑、身障児舞金の場合には身体障害者手帳の写しが必要です。
詳細は管理課へ。

和泉保育園でも

市では、昭和五十一年度から三年度及び五歳児を対象に駄倉保育園において障害児保育を実施してきましたが、昭和六十一年度から和泉保育園でも実施することになりました。次の要領で

ねむの木学園の第三作
虹をかける子どもたち

29日(土)に市民映画祭

社会福祉協議会では、市民映画祭として、ねむの木学園の「虹をかける子どもたち」を次のとおり上映します。

この映画は、ねむの木学園が「ねむの木の詩」、「ねむの木の詩が聞こえる」に続いて贈る最新作です。ねむの木学園の子どもたちの姿に画面を通して触れてみませんか。

「虹をかける子どもたち」を次の家族おそろいでご来場ください。

（日時）三月二十九日（土）午後一時三十分から三時（場所）福祉会館（定員）五百名

商工まつり

23日(日)午前10時から

植木即売やバザー

狛江市商工会では、三月二十三日（日）午前十時から午後三時まで、商工会館と会館周辺の野川緑地公園で「商工まつり」を開催します。

草花と植木の即売や福祉バザー、建設相談コーナー、商工会館での展示会、模擬店の出店もあります。皆さんでおいでください。

詳細は狛江市商工会（四八九一〇一七八）へ。

詳細は社会福祉協議会事務局（四八九一〇七八七）へ。

都民劇場春の会員特別募集

都民劇場は優秀な演劇、音楽映画が格安の会費で鑑賞できる。都民愛好者のための便利でおとくな鑑賞団体です。三、四月中に入会すると入会金千円が五百円に割引されます。

詳細は（財）都民劇場（五七二一四三二一）へ。

注意しましょう
悪質な訪問販売

三月・四月は転出、転入など移動の多い季節です。それにもなつて消火器、新聞の販売、張、寝具、印鑑、手相占いなどセールスマンの訪問販売も多くあります。器を販売したり、販売を業者者に委託したりすることはありますので十分ご注意ください。

訪問販売の苦情や疑問などについての相談は産業生活課へ。

②募集定員 和泉保育園二名
駄倉保育園一名

詳細は福祉事務所へ。



話し合いが進められている狛江駅北口

わが街の中心核づくり

狛江駅北口整備に市民が結集



狛江駅北口
整備特集号

市民の会が活発な活動

緑を残し、安全で便利、機能的な街に

小田急線狛江駅とその周辺は、毎日、通勤・通学者や買い物客などがたくさん集まる狛江市の表玄関であり、中心地区です。この中心地区の環境を保全しながら、交通・商業・防災機能を充実させ、市民の日常生活がさらに快適になるよう整備をしていく必要があります。また、水と緑の狛江市にふさわしく、緑で潤う玄関にしたいという市民の声も高まっています。

特に、現在進められている小田急線の高架化複々線化が進み、新しい駅舎が完成すると、人の流れが変わり、町の様相も一変して、市の「中心核」としての役割がもっと重くなります。そこで、現在、市と市民が一緒になって、北口地区整備のための計画案づくりをするため「狛江駅北口問題を考える市民の会（略称・市民の会）」が組織され、全体会のほか、世話人会と七つの分科会が設けられて、活発な活動が続けられています。

この会は、市民ならいつでも、どの分科会にも入って活動ができます。私たちの住む狛江市、受け継いで育っていく子どもたちに残して悔いのない街づくりをしたいもの。市民の皆さんのご参加とともにご理解とご協力をお願いします。

整備の必要性

狛江市は今日まで、公共下水道などの生活関連施設、地域センターなどの公益施設を優先して整備してきました。そのため、街づくりの骨格となる都市計画

道路や市民生活に不可欠な街づくり計画が立ち遅れている現状にあります。これらの特性や自然を大切にしたい個性で魅力的な整備をする必要があります。

今日までの経緯

狛江駅南口駅前広場を含む世田谷通りに通ずる都市計画道路は、昭和四十四年に完成しました。市では、当時度々水害が発生したこと、重点施策を下水道整備に、汚水管理施設工事

を昭和五十四年に完成させました。その後、重点施策を小田急線高架化複々線化と狛江駅北口整備に移し、北口地区については、昭和五十六年度に「小田急線狛江駅北口地区市街地再開発等調査（A調査）」を実施し、「整備構想案」をまとめ、昭和五十七・八年度には、さらに詳しく調査（B調査）を行い「モデル案」をまとめました。また、昭和六十一年一月には、とりあえず駅前広場と取付道路だけの縮小案をも提示しました。

市は、これらの案を中心に関係者との話し合いを行いました。が成案を得られず、住民からは全市民がみんな考え、水と緑の狛江市にふさわしい北口整備をする必要があるとの提案があり、さきの案を棚上げし、市と市民が一緒になって新たな計画案をつくることになりました。

小田急線との関連

小田急線高架化複々線化事業は、昨年の三月に都市計画決定がなされました。その後、東京都と小田急電鉄は、各種測量の実施や基本設計などを行い、本年五・六月を目途に事業認可を得る予定です。ところが、昨

年十一月九日「狛江駅北口問題を考える市民の会」が組織され、この中に、七つの分科会が設けられました。それぞれの分科会でまとめられた考え方を全体会で集約し「市民の会」の計画案」ができあがります。なお、市は、検討している計画案が計画、事業として成り立つよう全体会や分科会にオブザーバー、アドバイザーとして参加しています。

この全体会や分科会には、市民はどなたでも自由に参加できます。街づくりに意欲や関心のある皆さんの参加をお待ちしています。

日程等は、毎回この広報紙でお知らせしています。

分科会の日程

当面の分科会の開催日と連絡先は別表のとおりです。なお、市民広場分科会は毎月第一土曜日、公共施設分科会は毎月第三日曜日、事業費等分科会は毎月

分科会	日程	連絡先
自然保護等	3月26日(水)午後3時 502・3会議室	雄 郁 6-14 1485
市民広場	4月5日(土)午後2時 502・3会議室	信 彦 9-2 0636
道路・交通	3月25日(火)午後7時 502・3会議室	川 一 4-8 0825
公共施設等	3月16日(日)午後1時30分 502・3会議室	村 哲 4-16 8588
商業・消費者	3月18日(火)午後7時 502・3会議室	保 次 12-2 9351
地区計画	3月29日(土)午後7時 502・3会議室	英 夫 4-4 1853
事業費等	3月24日(月)午後7時 502・3会議室	正 己 2-34-7 1001

市民の会会則

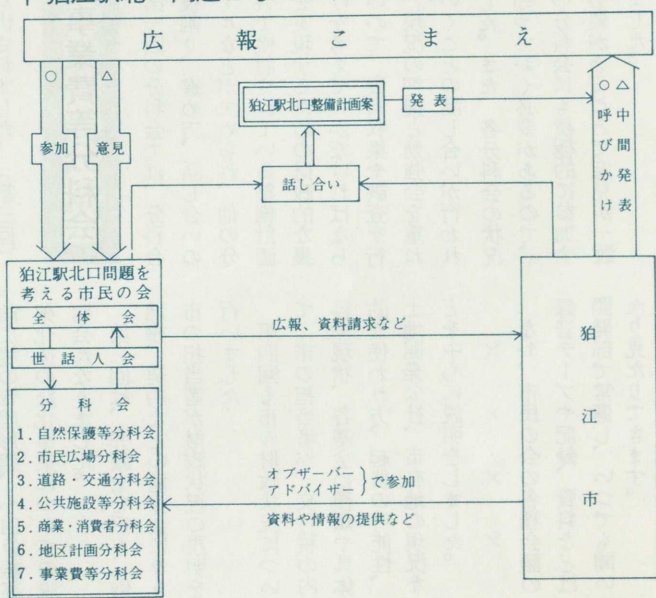
市民の会の組織、運営の基本となる会則が、一月二十五日の第三回市民の会で決まりました。この会は、市民と市が一緒に

市民の会の発足と経過

市は、経緯の中で述べた「構想案」「モデル案」「昭和六十年二月案」を棚上げしたあと、北口地区の整備計画案を市民と市が一緒に作成するため、広報紙で広く市民に現在の「市民の会」を作ることを呼びかけました。

昨年十一月九日、九十二名の市民が集い、この会は、市民の手によって運営されていくものと定義され、参加者はそれぞれ一市民として参加するものであり、代表者、代弁者で参加するものでないことを確認し、市民の自主的な運営でスタートしました。

「狛江駅北口問題を考える市民の会」フローチャート



分科会などの活動内容紹介

世話人会

第一回は、各分科会のまとめ役が集まって世話人会を組織し、この会の性格や役割などが話し合われました。

自然保護等分科会

第一回は、総合的な議論が行われたあと、「柏江市内の緑が急速に減少しているなか、北口の民有地の樹林、湧水は柏江市民にとって貴重なものである。緑の意義を明らかにするためにも市内の緑の実態を把握する必要がある」と確認されました。参加者の大勢は北口の民有地を自然公園として保全すべきだとの意見でした。中に、自然

久慈正己氏、記録に宮野信彦氏、絹山達也氏が選ばれました。

第二回は、①会則案の検討、問題点の整理。②各分科会からの活動報告。③第三回全体会の運営等が話し合われました。

第二回は、地図を基に現在まで緑地の減ってきた実態、近隣の公園・緑地との比較、柏江市の緑地保全政策の立ち遅れが明らかにされ、かつての湧水地点の状況から水の保全にも留意し、緑地の現状と将来の理想を科学的に裏づけて、三月末を目標に結論を出すことにしました。

第三回は、市内の緑地の減少を数字の上から検討、「環境保全のためには、ある程度私権の制限も必要である」「緑地部と文化遺産とは一致する場合も多く、文化遺産の現状を調査し、緑と合わせて報告書をまとめていくこと」を確認しました。

市民広場分科会

昭和六十二年四月に移転することが決まっている柏江第一小学校が、今まで学校教育以外に果たしてきた役割に注目し、市民の集い・交流など「場」の役割を市民広場に実現していくという発言が、第一回の分科会の冒頭にあり、各人の頭に描く市民広場のイメージを語りあい、意見交換が行われました。

第二回は、まとめ役の一人、中島氏が市民広場の意義・役割を次のとおり話されました。

「分散化社会と言われる中で人々の集い、人と人とのふれ合いを創り出す場所が今後求められよう。そのためには、だれもが集まれる空間、広場が必要である。それが駅前であれば非常に価値は高い。同時に今ある駅前の緑を活用し、ほかの地域には見当たらない独創的な市民広場を実現することが大切である」。

参加者はこの意見に賛同し、

道路・交通分科会

道路・交通分科会は、柏江駅周辺の道路整備状況、歩行者の流れや人数などの現状を把握し、道路・交通問題を考えたいという趣意で、①防災面からの緊急性②歩行者の安全性、利便性、快適性、③歴史、④事業化の可能性などを配慮しなければならぬことを参加者が合意しました。

また、北口整備上の条件項目について検討しました。

道路・交通問題を検討するに当たり、新しい柏江駅のコンコース(自由通路)や改札口の位置

公共施設等分科会

この分科会は、北口周辺に市民のためのどのような公共施設が必要かを検討しています。

第一回は、基本方針として、事業費を先に考えるのではなく、広場と調和した市民が利用しやすい有効な施設を、十分に時間をかけて考えていくことを確認しました。

第二回は、具体的な施設について意見交換が行われ、①二、三百人収容できる市民交流の場となる施設、②健康・福祉・教育センターが一つになって、ボランティア活動の拠点となる施設、③特別養護老人ホーム等の考えが出ました。また、良い

地区計画分科会

この分科会では、「元和泉一丁目四・五番地区」を北口整備計画の中でどのように考えて行くのか、話し合いの中から方向づけていくことを確認しました。

参加者は、この地区が駅に近いことから、近い将来当然に商業化されていくであろうとの共通認識に立ちながらも、この地

商業・消費者分科会

第一回は出席者の意見交換を行いました。主なものは次のとおりです。

①適正な規模や業種を検討し、たいてい施設に入る人を決める。

②市内の商業者への影響が大きいので、核となる大資本店は、いらない。市内業者による生活用品販売を重点に。③商工会の構想を参考に。④この機会に柏江市全体の商業も考え、各商店街にも参加を呼びかける。

第二回は商業者と消費者双方からの意見が出されました。

①消費者は大型店を望んでいるかも知れない。商業者は消費者との接点を考えるべきだ。②大型店を避ける消極的な姿勢ではだめ。共存も考えなければいけない。③物品販売だけでなく、文化施設も必要。④柏江は若い人が多い。その希望にこたえる店を。⑤駅の南北を人が回遊す

事業費等分科会

第一回の分科会では、分科会の役割、進め方、話し合いのルールなどが決められ、他の分科会で検討されている整備計画案を実現するための財政的な裏づけを考えていかなければならないので、資料収集や調査を行い、現況の把握と勉強会を重ねていくことの話し合いが行われました。また、各分科会の状況を知らせておく必要がある、他の分科会にも積極的に参加する必要があること意見が一致しました。

るような店の配置。⑥小田急電鉄が高架下の敷地で商業を営むのはやむを得ない。⑦敷地は限られている。高層にする必要もないこともある。慎重に。

第三回は商業施設の配置や位置、買い物客の流れなどの観点から、他の分科会で検討している道路や公園、高架後の駅舎の関係を含め、自由意見の交換が行われました。主な意見は、①駅舎、改札口が変われば、商業の考え方を考えなければならぬ。②小田急関連の店も出店条件は地元店と同じであるべきだ。③一つのショッピングセンターの既存の付近スーパーを入れ、集客力が増せば小売店も有利。④高級品を売る店があってもよい。⑤市外へ購買力をとられていく。⑥消費者にも積極的な参加を求めたい。⑦新駅のコンコースの位置は自然保護の立場だけでなく論ずるべきだ。など活発な議論が行われています。

第二回は、現行の国や都の補助金制度を中心に、他地区駅前広場の管理形態、小田急線高架化後の緑化事業についての説明会になりました。

第三回は、弁護士を招き、借地権、契約などの勉強会になり、市の担当者が財政状況の説明を行いました。

第四回も市の財政状況について、市の担当者が、交付税の内容や現状、各基金の種類や具体的な使われ方、起債の可能性、土地開発公社、市有地の現況などを中心に説明をしました。

× × × × ×

なお、市民の会の各種会議の録音テープや記録、資料などは開発部で常備し、いつでも聞いたり見たりできます。

「市民意識調査」まとまる

狛江市では、市民のみなさんの声を市政に反映させるために、定期的に「市民意識調査」を行っています。昨年七月の第三回調査がまとまりましたので、概略をお知らせします。

今回の調査は、市政に対する市民の評価、日常生活での要望などを中心にお尋ねしました。楽しく、夢のある都市生活の条件をつくり出すには、どうしたらよいかを考える資料とすることを目的としています。質問は全部で二十八問、四十二項目で、

貴重な結果が得られました。

調査票は、市内に住む満二十歳以上の人から、無作為に千五百人を選んで配布されました。有効回答は千二百九、有効回収率は八〇・六割でした。ご協力いただきました方々に厚くお礼を申し上げます。なお、「市民意識調査報告書」は、市内の各図書館に備えてありますので、詳細をお知りになりたい方は、ご利用ください。

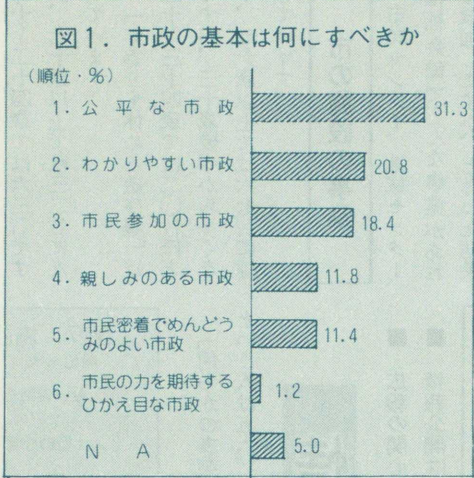
市政全般

- 何よりも公平な市政
- 借入金抑制した財政運営
- 市職員には正確・公平で信頼できる仕事ぶりを期待

市政の基本

「公平な市政」を期待する人

「わかりやすい市政」が二割、「市民参加の市政」が一割とな



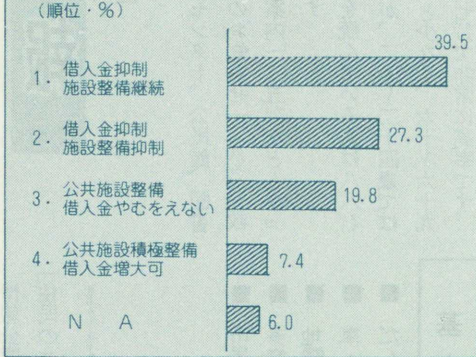
市の財政運営

本市には約百七十三億円の借入金があり、年に約二十億円の昭和六十年度総予算額の約一〇割を返済しています。今後も公共施設の整備を続けると、借入金が増え、返済に支障をきたすことが懸念されています。借入金を減らすべく増やさないで公共施設整備を続ける、費用

は他の部門の支出からまわす」が四割で、「以後は、公共施設整備をおさえても、借入金を減らすだけ増やさない」の二七割を合わせて、借入金を抑制する意見が六七割です。

「最低限度の公共施設整備は必要なので、借入金が増えるのもやむをえない」という意見が一〇割、「借入金後世代にも公平に負担してもらいための

図2. 市の財政運営は



市職員への期待

五割の市民が「正確・公平で手際よく、信頼できる仕事ぶり」を狛江市の職員に期待しています。次いで、四七割の人が

「市民がいつでも気軽に相談できるような、親しみのある態度」に答えています。

保育園

市立保育園の基本施策で重要な

なことを尋ねた結果は、「負担能力のある家庭はできるだけ費用を負担する」が最も多く三

五割でした。

公共施設

施設要望

■ 広い屋外施設と心身障害者施設の要望が高い

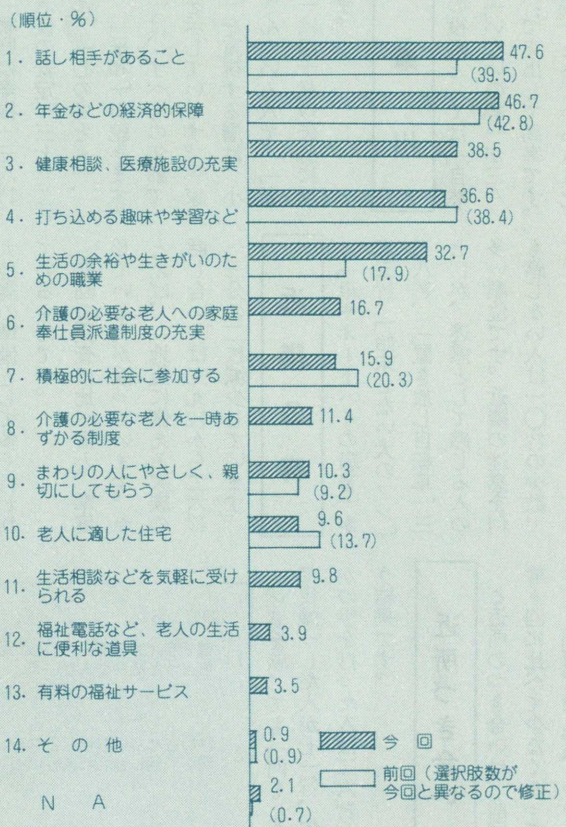
■ 遊び場は広場を十分とする

■ 市の文化施設に望む事業は「健康づくり」

十二の公共施設のうち「もっと欲しい」という要望の多いものは「軽い運動もできる公園」六五割、「大型の公園」五九割、「遊び場」五五割、「心身障害者センター」、「保健センター」と続きます。

「軽い運動もできる公園」の裏面へ続く

図4. 老後の幸せな暮らしは

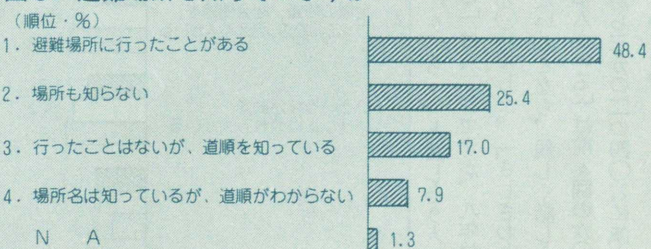


行政の各分野

その他の意見はほとんどなく

避難場所

図6. 避難場所を知っていますか



基本と考えている市民では四四割になります。

「避難場所に行ったことがある」人は四八割います。「行ったことはないが、道順を知っている」人は一七割と合わせると、六五割の市民が避難場所に行ける人です。狛江市に住んで一〜四年の場合は、避難場所に行ける人が四九割、五〜九年では六四割というように増えて、二十年以上住んでいる人では、七七割が避難場所に行けます。

図9. 関心のある広報記事

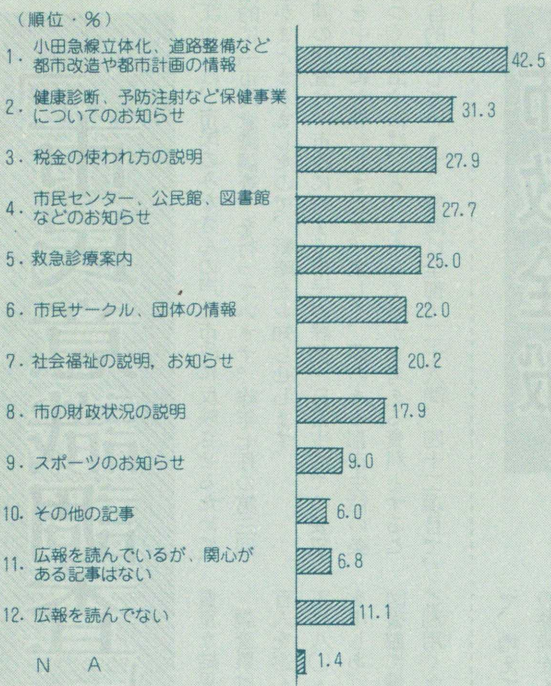
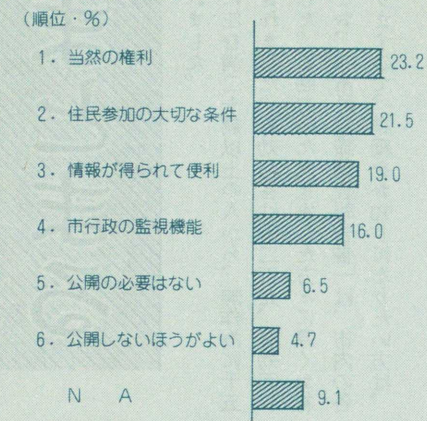


図10. 情報公開について



遊び場の条件

「広場を十分とる」が五一割、「穴を掘ったり、木に登ったりできる、なるべく規制の少ない遊び場」が四二割、「年寄りも休める遊び場」が三八割、「樹木を沢山植える」が三〇割で、支持する人の多い意見でした。

「広場を十分とる」という意見は、若い人ほど多く、年をとるにつれ少なくなっています。

二十〜二十四歳では六三割ですが、七十歳以上では三三割になっています。

「年寄りも休める遊び場」は、二十〜三十四歳では二〇割ほどですが、三十五歳後半から多くなり、七十歳以上では六七割に達しています。

市の施設の事業

市民センター、地域センター、福祉会館など事業があれは参加しますが、と尋ねた結果は、「健康づくり活動」が三三割で第一位でした。続いては、「日常生活の知識・技能・技術の習得」一五割、「手芸・工作など、ものをつくること」一五割、「芸術分野の創作活動」一割などです。

情報公開

■ 広報の関心事は「都市計画情報」
■ 情報公開は当然の権利

広報紙

「市民センター、公民館、図書館などのお知らせ」二八割、「救急診療案内」二五割などとなっています。

関心のある記事では、「小田急線立体化、道路整備など都市改造や都市計画の情報」が四三割、「健康診断、予防注射など保健事業についてのお知らせ」三三割、「税金の使われ方の説明」一六割、「税金の使われ方の説明」一六割、九七割で非常に高率です。

図7. 施設要望の強い順位

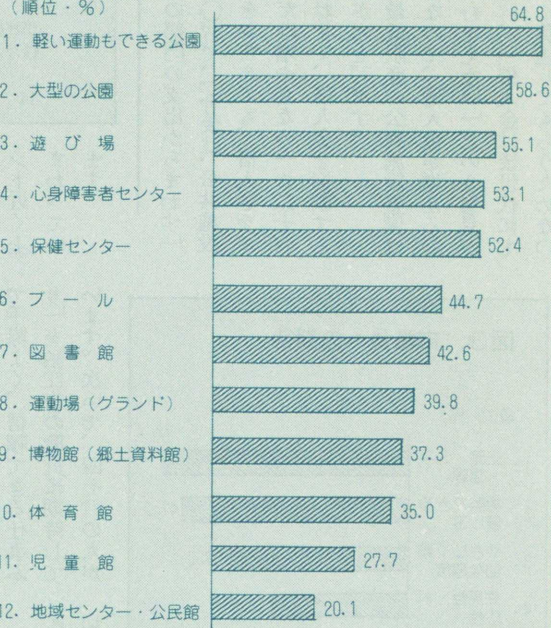
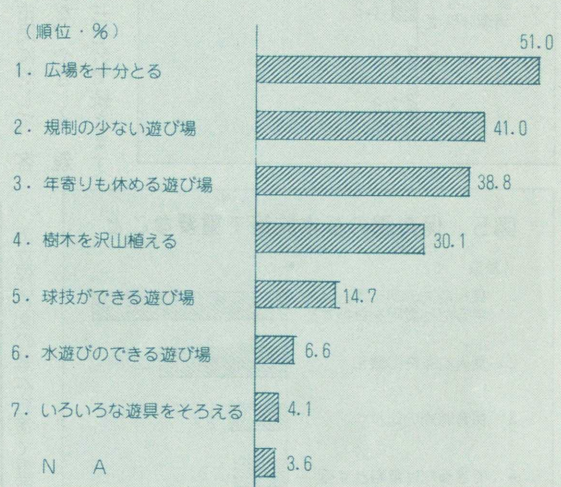


図8. 遊び場の条件



情報公開

「何らかの事業に参加する」という人は五六割、「どんな事業があっても参加しない(できない)」は二六割でした。

市民生活

■ 市民の基本的欲求「健康が大切」
■ 多摩川は「自然の場」「いのちの場」
■ 地震に備え六四割がラジオ、懐中電灯用意
■ 車・オートバイ騒音は六割が迷惑、でも我慢
■ だんだん薄くなる近所づき合い

大地震への備え

「携帯ラジオ、懐中電灯など」は六四割、「火の始末の訓練」が三九割、「家族の二、三日分の非常食糧」二八割、「非常医薬品」二七割が、家庭における大地震の準備として多く行われているものです。

近隣公害

「車やオートバイの騒音」が五五割、「始末しない犬のフン」三八割、「置き放し自転車」三七割が、迷惑と感じる人の多い順位です。近隣の迷惑を何も感じない人は一〇割の少数です。

近所づき合い

迷惑を感じても「何もしないで我慢」した人が七一割、何らかの手を打った人は二六割という結果です。

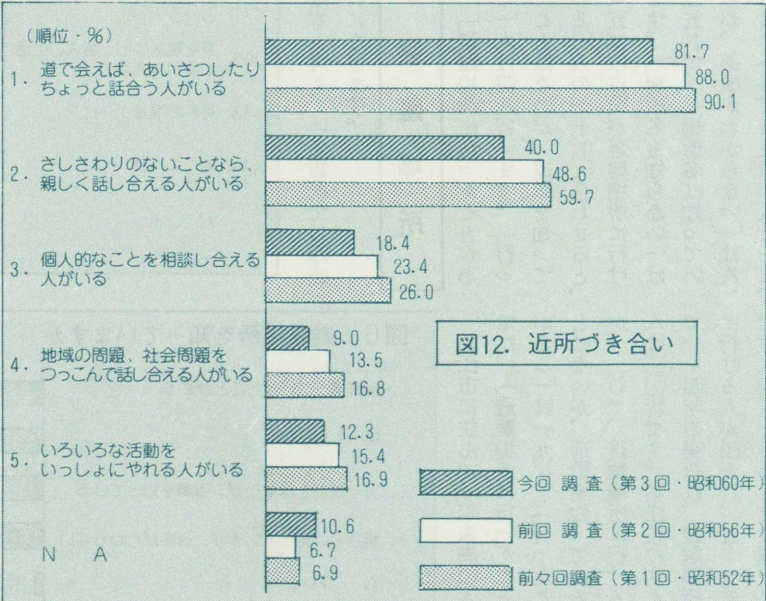
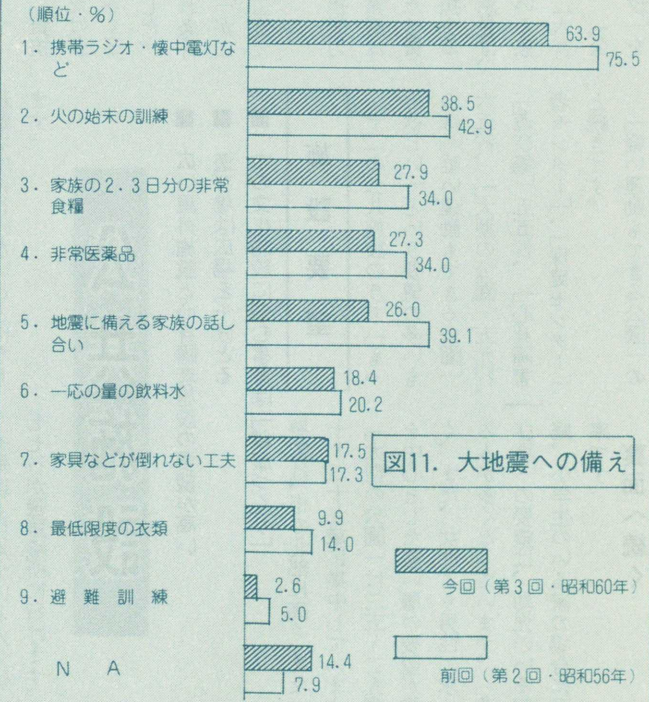


図11. 大地震への備え



多摩川

多摩川の役割としては「自然の場」と「いのちの場」が三八割、三六割で突出して高率です。「自然の場」とみている人は北

近所づき合い

「道で会えば、あいさつしたり、ちょっと話合う人がいる」は八二割ですが、八年前は九〇割でした。「さしさわりのないことなら、親しく話し合える人がいる」は前々回の六〇割から三分の二の四〇割に減少しています。

※図中の「N A」は回答のなかった人です。

日ごろの練習成果を聴いてください

第8回ジュニア・オーケストラ発表会



当日は45名の団員が熱演します

公民館主催のジュニア・オーケストラでは、日ごろの練習成果を皆さんに聴いていただくために「第8回ジュニア・オーケストラ発表会」を行います。
発足して三年目を迎えますが、当日は世界の代表的なクラシック曲を演奏します。
〔日時〕三月十六日(日) 午後一時三十分から三時まで。
〔会場〕福祉会館ホール
〔演奏曲目〕「軍隊行進曲」「アイネクライネ」、「ドナウ河のさざなみ」、「ノクターン」、「白鳥の湖」、「おもちゃのシンフォニー」など。
入場無料。
詳細は公民館福祉会館分館(四八〇一三〇一)へ。

狛江市少年少女合唱団第12回発表会

公民館主催の狛江市少年少女合唱団では、日ごろの練習成果を皆さんに聴いていただくために「第12回発表会」を次のとおり行います。
当日は、「翼を下さい」、「グリーン・グリーン」、「イッソー・スモールワールド」など皆さんのよく御存知の曲を紹介いたします。市民の皆さんのご来場をお待ちしています。
〔日時〕三月二十三日(日)

楽しい春休みの人形劇

第30回狛江市ファミリー劇場

公民館では、「第三十回狛江市ファミリー劇場」を開催します。人形劇団「ひとみ座」の公演と市民の人形劇サークル「ぶんぶん」、「パンビ」、「スー」の公演もあります。春休みの一日、親子そろって楽しい人形劇をご覧になりませんか。
上演作品は、「おうまにだけたきつねどん」と「ペーチャとあひるの子」です。
〔南部地域センター公演〕
〔日時〕三月二十八日(金) 午後一時三十分から
〔定員〕九十名
公民館では、「第三十回狛江市ファミリー劇場」を開催します。人形劇団「ひとみ座」の公演と市民の人形劇サークル「ぶんぶん」、「パンビ」、「スー」の公演もあります。春休みの一日、親子そろって楽しい人形劇をご覧になりませんか。
上演作品は、「おうまにだけたきつねどん」と「ペーチャとあひるの子」です。
〔南部地域センター公演〕
〔日時〕三月二十八日(金) 午後一時三十分から
〔定員〕九十名

文学講演会

公民館では、「文学講演会」を開催します。今回は、浄瑠璃歌舞伎、小説などでおなじみの「忠臣蔵」を文学の世界からその魅力をさぐってみます。また、明治の女流作家、樋口一葉の作品をとりあげます。
第一回 三月二十四日(月)
〔忠臣蔵の世界〕
〔講師〕近藤瑞男氏(共立女子大学助教授)
第二回 三月三十一日(月)
樋口一葉作「十三夜」
〔講師〕田中実氏(都留文科大学助教授)
〔時間〕いずれも午後二時から四時まで
〔会場〕市民センター
〔定員〕五十名。入場無料。
申し込み、詳細は中央公民館

春の軟式野球大会

参加チームを募集
狛江市軟式野球連盟では、六十一年度春季軟式野球大会参加チームを募集します。
〔大会期日〕四月六日(日)から毎日曜日
〔グラウンド〕多摩川緑地公園グラウンド
〔参加費〕一チーム、一万二千円。ただし、新規加盟チームは一万四千円(抽選会場で徴収)
〔主将会議 抽選会場〕三月十七日(月) 午後六時から市民センターで。
〔参加資格〕市内在住、在勤する者で構成され、十三名以上二十名までのチーム。
〔試合形式〕一、二部制のトーナメント。
詳細は大久保スポーツ店(四八九一四一六)へ。
女子バレーボール大会
狛江市バレーボール協会では、一般女子と女子ジュニア大会を次のとおり行います。
一般女子六人制
〔開催日〕三月三十日(日)
〔場所〕第一中学校体育館
〔参加資格〕市内在住、在勤、在学者で中学生、年生以上
〔参加費〕二千元

精神衛生講演会

お酒を飲みすぎて、困っている人やその家族を対象とした精神衛生講演会です。
〔日時〕三月十七日(月) 午後二時から四時
〔会場〕狛江保健相談所
〔演題〕アルコール問題を考えるーあなたのお酒の飲み方は大丈夫ですか
〔講師〕東京工業大学助教授・医師 榎本稔先生
〔定員〕三十名
〔申し込み〕当日直接会場へ。
詳細は保健相談所(四八〇一五三五一)へ。

貧血予防の講習会

貧血を予防していただくための講習会です。
〔日時〕三月一日 四月一日
〔火〕午前九時三十分から十一時三十分。▽第二日 四月八日(火) 午後一時三十分から四時。▽第三日 四月十四日(月) または四月十五日(火) 午後一時三十分から三時三十分。▽第四日 四月二十二日(火) 午前十一時三十分から午後二時
〔会場〕第一、二、三日は狛江保健相談所。第四日は市役所
〔内容〕血圧測定、食事診断、貧血予防のための知識や食事の指導、医師、保健婦、栄養士による個人相談など。
申し込み、詳細は電話で保健相談所(四八〇一五三五一)へ。四二四八四二二三へ。

パーキンソン病講演と相談

パーキンソン病で療養中の人や家族、希望者を対象とした講演と相談です。
〔日時〕三月十八日(火) 午後一時三十分から四時
〔会場〕武蔵調布保健所
〔内容〕パーキンソン病の正しい知識と日常生活の仕方
〔講師〕調布市医師会医師 石山淳一先生(定員)三十名
申し込み、詳細は保健相談所(四八〇一五三五一)へ。四二四八四二二三へ。

保健衛生だより

◆リハビリテーション教室 18日(火) 午前10時～正午。市役所5階会議室。詳細は保健衛生課へ。
◆1歳6か月児内科健診 26日(水) 午後1時30分～2時15分。狛江保健相談所。対象は59年8月1日～59年8月31日の出生者。詳細は保健衛生課へ。
◆狛江医師会からのお知らせ
◆今月の無料健康相談 19日(水) 午後1時30分～2時30分。市民センター。科目は内科、外科。

今月の休日診療

▽16日 佐藤診療所 東和泉1-3-14 電話489-1771。▽21日 多々羅内科医院 東和泉1-32-3 電話489-1902。▽23日 飯田医院 和泉本町1-6-1 電話480-2349。▽30日 神保医院 和泉本町1-2-13 電話489-1056。受付時間は、午前9時～11時30分、午後1時～4時30分まで。夜間診療及び歯科診療(昼間のみ)は、東京消防庁テレホンサービス(212-2323)へ。問い合わせは市役所へ。

日曜日の指定水道工事店番

▽16日(日)、21日(金) 信和住宅設備(489-9901)▽23日(日) 西浦建築(480-3171)▽30日(日) 和泉工業所(480-2015)
紙面の都合により相談についての日程は省略しました。詳細は市役所企画広報課(430-1111)へ。

ジフテリア・百日咳・破傷風（三種混合）

会 場	1 回 目	2 回 目	3 回 目	4 回 目	受付時間	通知対象者
第 三 小学校	4 月 11 日(金)	5 月 6 日(火)	6 月 3 日(火)		午後 1 時 40 分 ～ 2 時 50 分 (時間厳守)	第 1 期 昭和 58 年 11 月 1 日 生 ～ 昭和 59 年 3 月 31 日 生
上和泉 地域セ ンター	4 月 4 日(金)	5 月 8 日(木)	6 月 4 日(水)		午後 1 時 30 分 ～ 2 時 50 分 (時間厳守)	第 2 期 昭和 57 年 5 月 1 日 生 ～ 昭和 57 年 9 月 30 日 生
市民セ ンター	4 月 9 日(水)	5 月 7 日(水)	6 月 5 日(木)	6 月 30 日(月)		

会 場	第1回・第2回	通知対象者	受付時間
第五小学校	5月26日(月)	第1回 昭和60年8月1日生	午後 1時40分 ～ 2時50分 (時間厳守)
第四小学校	5月28日(水)	昭と61年1月31日生	
第三小学校	5月27日(火)	第2回 昭和60年2月1日生	
第二小学校	5月29日(木)	昭と60年7月31日生	
第一小学校	5月30日(金)		

会 場	1 回 目	2 回 目	対 象 者	受付時間
第五小学校	6月12日(木)	6月24日(火)	満 4 歳以上 就学前までの者	午後 2 時 2 時50分 (時間厳守)
第四小学校	6月11日(水)	6月23日(月)		
第三小学校	6月13日(金)	6月25日(水)		
第二小学校	6月16日(月)	6月26日(木)		
第一小学校	6月17日(火)	6月27日(金)		

会 場	ツベルクリン 接	ツベルクリン 判定及びBCG	受付時間	通知対象者		
市 役 所	4 月 8 日(火)	4 月10日(木)	午前10時 午前11時 (時間厳守)	昭和60年 4 月 1 日 生 昭和60年 11月30日 生		
第五小学校			午後 2 時30分 (時間厳守)			
第三小学校			4 月12日(土)		4 月14日(月)	3 時30分 (時間厳守)
市民センター			4 月19日(土)		4 月21日(月)	

三種混合	第1期	4歳に達するまでに3回接種(3~8週間の間隔で)
	第2期	第1期終了後1年から1年6か月ぐらいの間に1回接種 第1期が4歳までに完了していれば5歳6か月までに受けることができます。
急性灰白髄炎 (ポリオ)		4歳に達するまでに2回服用(6週間以上の間隔で)
日本脳炎		満4歳以上就学前までの者(通知発送はいたしません)
ツベルクリン B C G		4歳に達するまでに1回完了させてください。

▽すでに百日咳にかかったお子さんは二種混合を市民センター（実施日＝四月九日、五月七日、六月五日、六月三十日）で行いますので会場で申し出てください。

保険料の未納
にご注意を

詳細は午前中に保険衛生課へ
元の納付書に未納がないかもう
一度お確かめください。納付書
を紛失された場合は、保険衛生
課で再発行します。

89(858)へ。

会員募集 一般女子のサッカークラブ「狛江アゼイリアサッカークラブ」では、4月から土日曜日に市内のグラウンドで活動を始めます。中学生以上で市内在住、在学、在勤の女性を募集します。詳細は平野(489(4014)へ)。

勉強会 詩の教室では、3月16日(日)午後1時から市民センターで大岡信の「詩と言葉と人間」をテーマに勉強会を行います。講師は鈴木初江氏。詳細は鷹取(48050545)へ

植物散策 狛江植物同好会では、3月23日(日)午前9時30分、和泉多摩川駅前に集合して多摩川沿岸を歩き身近な植物を鑑賞した。

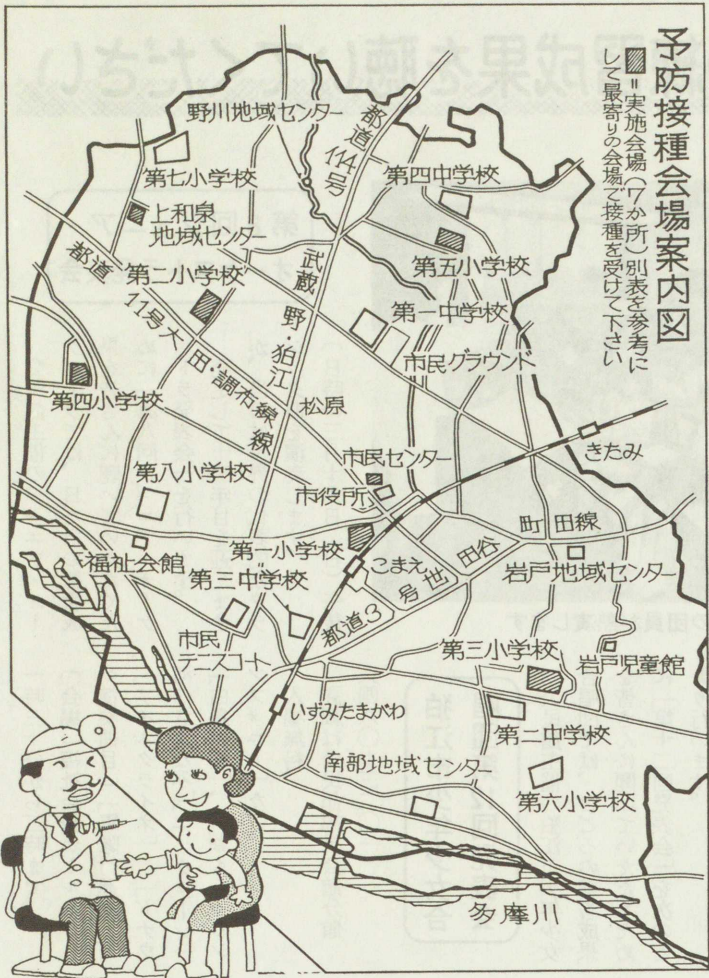
医療、福祉、生活相談会 狛江難病患者と家族の会では、3月23日(日)午後2時30分、和泉多摩川駅前に集合して多摩川沿岸を歩き身近な植物を鑑賞した。

の観察を行います。参加費300円。詳細は桑原（489）102へ。月20日（木）午前10時から市民センターで相談会を行います。どなたでもどうぞ。詳細は原

初夏の音楽会 狛江市音楽連
盟では、6月8日(日)に福祉
会館で開催予定の「初夏の音楽
会」の出演団体を3月末まで募
集します。クラシック音楽の中
心で、(488)6265)へ。
懇談会 婦人学習グループ連
合協議会では、3月24日(月)
午前10時から正午まで市民セン
ターで「老いを地域社会に生き

心にコーラスや器楽合奏の団体を募集します。参加費5000円。申し込み、詳細は中村(40424)88(3626)へ

3月15日から
市民課で受付



春の予防接種

伝染する恐れのある病気の発生とまん延を予防する「六十一年度春の各予防接種」を別表のとおり行います。

対象者は注意事項をよく読み
実施日を確認し、忘れずに受診
されるようお願いいたします。なお
会場の指定はありませんので都

合のよい会場へおいでください
ただし、日本脳炎については学
童を除きます。

▽急性灰白髄炎（ポリオ）については、下痢をしている幼児「受ける前に注意すること」

▽発熱している幼児、栄養障害にかかっている幼児、心臓・じん臓病等に、最近または現在にかかっている幼児

▽接種するワクチンの成分により、アレルギー反応を起こすことが明らかな幼児

▽一年以内に、けいれん症状を示したことが明らかな幼児

▽医師に予防接種を行うことが

不適当と判定された幼児
▽一か月以内に、はしか・水ぼうそう・おたふくかぜなどの伝

染性疾患にかかったことが明らか
な幼児

▽一か月以内に、同一家族内、

集団生活の中で前記の伝染性疾患にかかったことが明らかでない者がいる場合受けられないことが